



2023年4月14日

各位

会社名 R P A ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役高橋知道
 (コード番号: 6572 東証プライム)
 問合せ先取締役松井哲史
 (TEL 03-5157-6388)

**連結業績予想と実績との差異、
 営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ**

当社は、2023年1月13日に公表した2023年2月期(2022年3月1日~2023年2月28日)の業績予想と本日発表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。併せて営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想との差異について

(1) 2023年2月期連結業績予想と実績の差異(2022年3月1日~2023年2月28日)

	連結売上高	EBITDA※	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,910	百万円 741	百万円 250	百万円 136	百万円 △119	円 銭 △1.96
今回発表実績(B)	5,957	677	305	80	64	1.06
増減額(B-A)	47	△63	55	△55	183	3.02
増減率(%)	0.8	△8.6	22.3	△40.7	-	-
(参考) 前期実績 (2022年2月期)	5,904	1,099	354	300	△1.186	△19.36

(2) 差異の理由

連結売上高につきましては、概ね計画通りとなりました。利益面におきましては、売上計画の上振れと販売管理費予算の未消化により、連結営業利益は計画を上回りました。一方で、持分法による投資損失122百万円、投資事業組合運用損65百万円を計上したことで、連結経常利益は従来予想を下回る結果となりました。また、後述の通り当社の持分法適用関連会社であるA PLUS JAPAN株式会社が第三者割当増資を行ったことにより持分変動利益466百万円を特別利益として計上したこと、及び当社の子会社が保有する固定資産(ソフトウェア)の一部について、減損損失132百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益については従来予想を上回る結果となりました。

2. 営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額の計上及びその内容

(1) 持分法による投資損失

当社の持分法適用会社である A PLUS JAPAN 株式会社の決算報告に基づき持分法による投資損失 122 百万円を営業外費用として計上することになりました。

(2) 持分変動利益

上記 1 (2) に記載のとおり、当社の持分法適用関連会社である A PLUS JAPAN 株式会社が第三者割当増資を行ったことにより持分変動利益 466 百万円を特別利益として計上することとなりました。

(3) 固定資産の減損損失

上記 1 (2) に記載のとおり、当社の子会社が保有する固定資産（ソフトウェア）の一部について、将来の回収可能額を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2023 年 2 月期において減損損失 132 百万円を特別損失として計上することといたしました。

(4) 法人税等調整額

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（損）100 百万円を計上することとなりました。

(5) 貸倒引当金繰入額

当社の個別財務諸表において、子会社の財政状態悪化に伴い当該子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 417 百万円を計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

以 上